

5 月 31 日 : VN 指数は反落、大型株が弱い

大型株が売られたことで、火曜日のベトナム市場は軟調な値動きとなった。

ホーチミン市場の VN 指数は 0.1% 安の 1,292.68 ポイントで取引を終えた。

同指数は前日に 0.66% 高の 1,293.92 ポイントで引けていた。

騰落別では 147 銘柄が上昇、298 銘柄が下落、57 銘柄は変わらずだった。

出来高は引き続き低水準で、売買高は 5 億 9,100 万株以上、売買代金は 16 兆 1,000 億ドン（6 億 9,430 万米ドル）となった。

VN30 指数は 0.77% 安の 1,332.59 ポイントで取引を終えた。

騰落別では 10 銘柄が上昇、20 銘柄が下落した。

月曜日に見られた上昇の勢いは続かなかった。投資家は売りの姿勢を強め、フーニョアンジュエリー（PNJ）-4.65%、FPT グループ（FPT）-1.26%、ホアファットグループ（HPG）-2.12%、バオベトホールディングス（BVH）-1.68%、ベトナム航空（HVN）-2.61%、VP バンク（VPB）-1.9%、TP バンク（TPB）-1.97% といった銘柄が下落した。

銀行セクターも軟調で、マーケットの重石となった。主な値下がり銘柄にはベトコムバンク（VCB）、ベトナム投資開発銀行（BID）、テクコムバンク（TCB）、軍隊商業銀行（MBB）、ベトナム国際銀行（VIB）、サイゴンハノイ銀行（SHB）が含まれた。しかしヴィエティンバンク（CTG）、HD バンク（HDB）の 2 銘柄は上昇した。

「世界的な株式市場の上昇と国内の銀行業界の明るいニュースが直近の株価上昇を支えている」（ホーチミン市証券の Bùi Văn Huy 氏）

「しかし、国内外の状況はあまり変わっていない。先週末までに 2 週連続で上昇したが、今後売りが強まる可能性があり、安定した上昇のためにはより資金流入が必要となるだろう。現在の状況では、一日当たりの出来高は 10 兆ドンから 15 兆ドンのままだろう」（同氏）

ハノイ市場の HNX 指数は 0.96% 高の 315.76 ポイントで取引を終えた。

同指数は前日 0.51% 高の 312.77 ポイントで引けていた。

出来高は低水準で、売買高は 8,400 万株、売買代金は 2 兆ドンとなった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利はJSIに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。